

2021（令和3）年度

第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価調書



ジオパークの町 鹿追町



とがち鹿追ジオパーク

2021（令和3）年度_第7期鹿追町総合計画重点プロジェクト評価総括表

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値	単年目標値	実績値	単年目標	評価	最終目標値	総合計画 ページ	担当課
				2018（H30）年度	2021（R3）年度	2021（R3）年度	達成率		2023（R5）年度		

1.その先へプロジェクト

1	子育て支援	子育て世代の包括的支援	この地域で子育てをしたいと思う保護者の割合（%）	98	98	90	92%	A	100	40	保健福祉課
2	学校教育	自然体験留学制度の充実	留学制度による親子留学者数（人）	5	5	13	260%	B	10	48	瓜幕支所
3	農業（経営・基盤整備）	農業基盤整備事業の推進	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数（件）	5	4	4	100%	A	4	70	農業振興課
			多面的機能支払交付金執行率（%）	100	100	100	100%	A	100		
4	農業（持続可能な農業）	バイオガスプラントの有効活用・推進	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量（t）	152,500	167,500	161,652	97%	A	181,000	76	農業振興課
5	商工業	町内企業への支援	町内商工業事業者数（商工会員数）（人）	169	165	162	98%	A	165	82	商工観光課
6	観光	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開	観光客入込数（人）	742,000	822,000	590,200	72%	C	872,000	86	商工観光課
7	エネルギー	新たな再生可能エネルギーの有効活用	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量（t）	0	363	303	83%	A	363	90	企画課
8	情報通信	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進	光回線など、高速通信網整備の事業着手（事業着手前を0・着手（将来目標）を1）	0	0	1	100%	A	1	118	企画課
9	財政運営	行財政改革の推進	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額（累計）（千円）	0	△ 300,000	△ 266,658	89%	A	△ 500,000	136	総務課

2.「魅力最大化」プロジェクト

1	ジオパーク	ジオパークの地域住民への浸透	とち鹿追ジオパークビジターセンター来館者数（人）	3,000	3,200	2,197	69%	B	3,300	88	ジオパーク推進課
2	花、公園	花による美しい街と豊かな景観づくり	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度（%）	97	98	81	83%	A	100	94	建設水道課
3	農業（安心・安全な農業）	消費者ニーズにかなった体制の確立	十勝型GAPの取組者数（戸）	105	110	114	104%	A	110	74	農業振興課
4	農業（安心・安全な農業）	安心・安全な農畜産物の需要拡大	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数（回）	5	8	5	63%	B	10	74	農業振興課
5	学校教育	国際理解を学ぶ英語教育の充実	鹿追高校での英検2級取得者数（人）	5	7	7	100%	A	10	48	学校教育課
6	学校教育	幼小中高一貫教育による深い学びの実践	町内中学生の鹿追高校への進学率（%）	58	70	55	79%	B	70	50	学校教育課

NO.	基本計画名	施策名	指標内容	現状値	単年目標値	実績値	単年目標	評価	目標値	総合計画 ページ	担当課
				2018（H30）年度	2021（R3）年度	2021（R3）年度	達成率		2023（R5）年度		

3.「つながり」プロジェクト

1	高齢者福祉	地域包括ケアシステムの推進	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数（件）	357	400	203	51%	B	500	44	保健福祉課
2	商工業	道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携	町外道の駅との連携イベントの実施回数（回）	2	5	0	0%	Y	10	82	商工観光課
3	防災	防災意識の普及と防災体制の充実強化	行政区等を対象とした防災訓練等の回数（回）	0	10	5	50%	B	10	106	町民課
4	交流	国際姉妹都市との交流促進	受入れホスト家庭数（戸）	308	338	318	94%	A	358	122	企画課
5	交流	国内友好都市等との交流促進	国内姉妹提携都市数（都市）	0	0	0	0%	Y	1	122	企画課
6	コミュニティ	町民の町政参加機会の拡充	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数（件）	0	2	1	50%	C	5	124	企画課
7	コミュニティ	広報広聴活動の拡充	ふれあいトークへの参加人数（人）	0	200	20	10%	D	300	124	企画課
8	コミュニティ	住民自治組織の育成	行政区支援事業への参加件数（件）	24	28	8	29%	C	35	124	企画課
9	行政運営	他市町村との情報共有など広域行政の連携強化	十勝管内の観光入込み客数（延べ人数）（万人）	1,033	1,046	707	69%	B	1,046	134	企画課
			十勝管内バス乗客数（万人）	459	464	326			464		

評価	全25のうち、各評価の数	率	評価基準	評価基準参考数値	補足
A	12	48%	（目標に向けて）非常に効果があった	目標の8割以上	左の評価基準参考数値（目標の〇割以上・以下）はあくまでも参考になります。 例えば、当初設定した指標が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けるようなものになっている場合は、実績値に大きく影響しますので、左の評価基準参考数値に限らず、総合的な判断にて評価をしています。
B	7	28%	（目標に向けて）概ね効果があった	目標の6割以上	
C	3	12%	どちらとも言えない	目標の4割以下	
D	1	4%	（目標に向けて）あまり効果的ではなかった	目標の2割以下	
E	0	0%	（目標に向けて）効果的ではなかった		
X	0	0%	今年度は事業実施年度ではない		
Y	2	8%	次年度以降に事業実施予定		
Z	0	0%	前年度までに事業が完了した		

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	保健福祉課 健康推進係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	子育て世代の包括的支援
	施策の概要	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターを設置し、きめ細やかな相談体制を整えるとともに、総合的な支援体制の構築を図る。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合	100%	98%	この地域で子育てしたいと思う保護者の割合
施策と指標の関連性	子育て世代への総合的な支援体制を構築し、支援体制への満足度を向上させたいため、この指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	7,324	6,585	5,959	98	94	A	96%	子育て世代包括支援センター設置
2021	4,500	4,939	4,809	98	90	A	92%	子育て世代包括支援センターについて広く周知
2022	4,500			100				親同士がつながれるような支援・サービスについての充実
2023	4,500			100				手厚い支援が必要な親子への支援の充実
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
・子育て世代包括支援センターについて町民への周知を図る。	・関係機関との連携会議を実施する ・町民に向けて子育て世代包括支援センターについて、広報等をおして周知する。 ・妊産婦の支援プランを作成し不安なく子育てできるように支援する	・保健福祉課 ・子育て支援課 ・教育委員会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		連携会議			連携会議			連携会議			広報にて周知

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	乳幼児健診時のアンケート	子育て世代包括支援センターについて広く周知を図るとともに、子育てに係る機関と連携を図り、支援充実を図った。目標達成率が9割に達していたためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
町の子育て支援に満足している方が多く変更点はないが、引き続き子育て世代のニーズを把握し、ニーズに応じたサポート体制の充実を図る。	サポートが必要な親子も増えており、定例の連携会議だけでなく、個別の支援会議も設けていく。 周知については、広報以外の周知方法検討してく。	乳幼児期については、アンケート等で満足度を図ることができるが、具体的にどの部分で不満があったり、満足しているのかなど、問診の中などでも聞き取るようにしていきたい。

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		瓜幕支所 地域振興係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	自然体験留学制度の充実
	施策の概要	他地域からの児童や生徒を受け入れることで、異なる考え方や文化を学びより多様な人間関係を築くことで他者への理解を促進する教育を進めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	親子留学人数	10人	5人	留学制度による親子留学人数
施策と指標の関連性	他者への理解を促進する教育のために受け入れている、他地域からの児童や生徒の数を指数とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	17,000	16,957	16,274	5	8	B	160%	地域での受け入れ可能数の現況調査
2021	17,000	16,896	15,696	5	13	B	260%	留学制度再設計の検討
2022	17,000			10				留学制度受け入れ体制（居住環境整備）の構築
2023	17,000			10				留学制度受け入れ体制の充実
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

評価
総括表

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
今後の留学制度について、現状を踏まえての制度の再設計	<ul style="list-style-type: none"> 留学制度再設計の検討 留学制度開始から35年目となり地域住民も入れ替わり、改めて留学制度の意義や効果を周知したり、問題点をアンケート形式で集約などしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 瓜幕自然体験留学制度推進連絡協議会 教育委員会 町長及び副町長 瓜幕支所 企画課（移住） 建設水道課（公住） 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	留学制度の現状を分析し、今後の制度再設計の方向性を決めていくために調査する。			留学制度再設計に向けて、どのように地域や学校へ留学制度を理解・協力しながら進めていけるかを検討する。					地域への理解をアンケート形式で周知し集約する。		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	親子留学人数の実績（子どもの数）と、留学制度再設計に向けたアンケートにより評価する。	目標達成率が8割以上であり、留連協役員による地域住民への説明はある程度できたものの、アンケートまで実施できなかったため、評価をBとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
制度の再設計として、現況調査や事業内容、アンケート内容を具体的に検討する。	留連協の三役会や役員会等で具体的に検討していく。	学校・地域・担当課・教育委員会等の関係機関との連絡調整を密にしていく。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		農業振興課 耕地整備係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業による農業基盤整備事業を計画的に実施

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	事業実施地区数	4	5	国営・道営事業による農業基盤整備事業実施地区数
施策と指標の関連性	施策として行う農業基盤整備事業を実施した数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標 達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	500,000	320,000	216,000	5	5	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 北瓜幕地区 ・道営草地畜産基盤整備事業 上頼内地区
2021	500,000	298,200	240,186	4	4	A	100%	基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 北瓜幕地区
2022	300,000			3				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 美豊高台地区
2023	300,000			4				基盤整備事業地区 ・国営かんがい排水事業 笹川地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 美豊高台地区 ・道営担い手畑総事業 第2北鹿追地区
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	地区	地区			

評価
総括表

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容		実施体制
農業農村整備事業の計画的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国営かんがい排水事業 笹川地区 地区調査 ・道営かんがい排水事業 瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 東瓜幕地区 ・道営担い手畑総事業 北瓜幕地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札											
調査及び工事実施											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事業実績	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画通り整備が進んでいる。目標達成率が100%であるためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
当初の事業計画通り整備が進んでおり、変更点はないが、地域要望に応じて引き続き事業実施について検討する。	変更点はないが、悪天候や社会情勢等による変更が生じた場合は、関係受益者と調整を図る。	関係機関と連携し、受益者と調整を図りながら円滑に整備を進める。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		農業振興課 耕地整備係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	農業基盤整備事業の推進
	施策の概要	農村景観や環境保全に配慮した国営・道営事業による農業基盤整備事業を計画的に実施

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	交付金執行率	100	100	多面的機能支払交付金執行率
施策と指標の関連性 環境保全活動として実施している多面的機能支払交付金事業の執行率を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	100,000	101,405	101,369	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 (地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など)
2021	100,000	101,369	101,342	100	100	A	100%	多面的機能支払交付金事業 (地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など)
2022	100,000			100				多面的機能支払交付金事業 (地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など)
2023	100,000			100				多面的機能支払交付金事業費 (地域資源保全・向上、施設長 寿命化、組織体制強化など)
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

評価
総括表

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
環境保全活動を継続的に実施	・多面的機能支払交付金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興課 ・農業関係機関 ・町民 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多面的機能支払交付金事業による環境保全活動											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実績報告書	全体的に当初スケジュールを変更することなく、事業計画通りの活動が実施されており、本事業に対する理解や評価も良い。目標達成率が100%であるためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
当初の事業計画通り活動が実施されており、変更点はないが、引き続き本事業を計画的に実施する。	引続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、取組みを実施してもらう。	実績報告書等により実施状況を確認し、指導・助言を行う。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係	農業振興課 環境保全センター係
-------	-----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	バイオガスプラントの有効活用・推進
	施策の概要	家畜ふん尿処理施設であるバイオガスプラントのさらなる有効活用を推進するとともに未整備地区の整備を推進します。さらにFIT終了後を見据え、バイオガスエネルギーの有効活用を推進するため、水素燃料や熱利用等についての調査・研究を実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	バイオマス資源の年間活用量	181,000 t	152,500t	家畜排せつ物等のバイオマス資源の年間活用量
施策と指標の関連性 バイオガスプラントの有効活用を図る上で原料の安定確保が重要であるため、この指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検		自己評価	目標達成率	内容
				目標値	実績値			
2020	300,000	448,177	287,161	160,000	161,534	A	101%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討。マスタープランの策定。
2021	300,000	285,593	284,316	167,500	161,652	A	97%	バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2022	300,000			175,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2023	300,000			181,000				バイオガスプラントの適切な事業運営及び更なる有効活用等の検討
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	t	t			

評価総括表

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標
------	---------------------------

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
既存のバイオガスプラントの安定稼働を図るとともにマスタープランに基づいた未整備地区バイオガスプラントの検討	<ul style="list-style-type: none"> 鹿追町環境保全センターの安定稼働 マスタープランに基づく未整備地区バイオガスプラントの検討 電源接続募集プロセスに基づく系統連系確保に向けた取組の継続 水素サプライチェーン実証事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 町長、副町長 農業振興課 農業関係機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> 鹿追町環境保全センターの安定稼働 未整備地区バイオガスプラントの検討 電源接続募集プロセスに基づく系統連系確保 水素サプライチェーン実証事業の推進 											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	バイオマス施設の実受入量	受入量の推移から、バイオガスプラントの稼働率が好調である。目標達成率が9割を超えているためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Do の変更点 (スケジュールなど)	Check の変更点 (チェックの体制・方法など)
水素サプライチェーン実証事業の期間が終了となったため、今後の活用について協力していく。	安定稼働のために稼働状況や修繕の必要性について検討する。	季節ごとの水素利用量などのデータを収集する。

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		商工観光課 商工労政係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	町内企業への支援
	施策の概要	商工会による経営指導体制の強化や人材育成による経営管理能力の向上に向けて行政と関係団体との連携を図りつつ、各種融資制度や諸施策を充実させ、町内企業の経営の安定化、資金調達の円滑化により企業への支援を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	商工業事業者数	165	169	町内商工業事業者数(商工会員数)
施策と指標の関連性	コロナの影響や事業者の高齢化などによる事業継続が厳しい中、事業者の経営、事業の発展を支援する施策により、商工会員数の減少を抑えることを指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	27,990	27,990	34,769	165	164	A	99%	・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2021	32,255	39,693	27,372	165	162	A	98%	・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2022	32,255			165				・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2023	32,255			165				・経営改善普及事業等補助事業(経営改善普及事業、近代化推進活動事業など) ・事業資金利子補給事業
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	事業者	事業者			

4年見直し

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
町内企業の経営の安定、資金調達の円滑化等に取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> 商工会による経営改善普及事業等補助事業、商工会一般事業、近代化推進活動事業への補助事業を実施することにより町内事業者への経営支援等を推進する 商工業事業資金利子補給事業により町内事業者の安定的な資金調達等を支援することで経営の安定化を推進する 	鹿追町 鹿追町商工会

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商工会各種補助											利子補給実施	事業評価委員会

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	商工会の総会議案で確認する。	新型コロナウイルス感染症の対策として各種事業(利子、特別利子補給、商品券)を実施し、人の流れや資金支援の施策を行ったことで、商工会員数を微減に食い止めることができた。目標達成率が9割を超えているためAとした。

Action Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くことを想定し、前年度同様の事業方針を継続して進める。	情勢の変化により、国・北海道・関係機関の各種補助金を活用し、商工会、町内事業者と情報共有を図りながら、効果的な事業を実施する。	商工会員数を目標値・実績値としており問題無いことから前年度同様とする。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		商工観光課 観光係		
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト		
	施策	国立公園エリア施設の活用推進および誘客施策の展開		
	施策の概要	施設の老朽化等への対応、新たな機能の追加、町全体を観光資源と位置付け、エリア毎の課題を整理し包括的に進めます。新たな事業展開により、リピーター造成や滞在時間の延長化へと繋げ、来町のきっかけを提供する誘客事業を推進します。		
関係指標	指標名	目標値	現状値 ＜2018年度＞	内容
	観光客数（うち外国人数）	872,000人 (7,000人)	742,000人 (4,007人)	観光客入込数 (うち外国人観光客)
施策と指標の関連性	国立公園エリア施設の活用、誘客事業の推進により増加させる観光客入込数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	26,276	26,027	16,903	792,000 (5,000)	598,700 (6)	C	76%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2021	24,523	26,630	25,900	822,000 (6,000)	590,200 (0)	C	72%	・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2022	24,523			842,000 (6,500)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2023	24,523			872,000 (7,000)				・観光振興事業（観光協会補助事業） ・自然公園管理事業
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標											
	具体的な方針	具体的な事業内容									実施体制	
	withコロナ、afterコロナを見据えた事業により、誘客施策を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・然別湖畔園地公園を活用した小規模イベントを定期的を実施し、湖畔及び鹿追町内への観光客増加を目指す。 ・湖畔との往来中に町内飲食、物販等の消費行動へつなく機会を増加させる。 									鹿追町 鹿追町観光協会	
Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		事業計画	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	イベント実施	然別湖コタン準備	然別湖コタン開村	然別湖コタン開村	検証
Check	「Do」の結果・チェックなど											
	結果	評価参考基準			実績値の把握方法			ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)				
	C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了			町内事業者・施設等からの報告される入込数の積み上げによる。			新型コロナウイルス感染症の影響は昨年度から引き続き断続的に猛威を振るっている。こうした中においても体験事業や持ち帰り飲食物への割引支援事業を実施し、コロナ禍での一定程度の人の流れは作り出したが、観光客の入込を回復することができず評価をCとした。				
Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な改善点など											
	Planの改善点 (事業方針や内容など)			Doの改善点 (スケジュールなど)			Checkの改善点 (チェックの体制・方法など)					
	感染症は、まだまだ終わりが見えない状況下であるため、前年度等の関係団体や町内事業者とともに、その時々的情勢に合わせて事業を実施する。			国や北海道の各種支援策の情報収集を積極的に行い、観光協会等の関係団体や町内事業者とともに、その時々的情勢に合わせて事業を実施する。			観光客の入込数を目標値・実績値としており問題無いことから前年度同様とする。					

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		企画課企画係 ICT・エネルギー担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	新たな再生可能エネルギーの有効活用
	施策の概要	自家線のネットワークを整備し、太陽光や地中熱などの新たな再生可能エネルギーの有効活用を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	CO2年間排出削減量	363t/年	-	再生可能エネルギーの有効活用及び適切な運用によるCO2年間排出削減量
施策と指標の関連性	再生可能エネルギーの有効活用の主たる理由がCO2削減（地球温暖化対策）のため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	201,233	200,452	198,005	121	107	A	88%	自家線ネットワーク整備事業完工 本格運用12月頃～
2021	8,021	7,111	6,690	363	303	A	83%	性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2022	8,021			363				性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2023	8,021			363				性能が最大限発揮されるよう適切な運用を行いつつ、新たな再生可能エネルギーを模索
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	t	t			

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
自家線ネットワークの適切な運用管理	<ul style="list-style-type: none"> 電気主任技術者による毎日の点検、月次点検、法定年次点検を実施し、適切な運用管理を徹底する。 CEMSから得られる情報を元に省エネルギーを推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 企画課 自家線ネットワーク施設担当課

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適正な運用・管理											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A～Z) の理由を記載)
A	A: 目標の8割以上 B: 目標の6割以上 C: 目標の4割以下 D: 目標の2割以下 E: 効果なし X: 実施年度ではない Y: 次年度以降実施 Z: 昨年度までに事業完了	CEMS帳票により自動算出 (帳票出力)	適正な運用はもとより、CEMS帳票から得られる各施設の電気使用量を分析・グラフ化し、原課に具体的にコメントを付して省エネを促進するなどを実施してきた。また、目標の8割以上のCO2排出削減が出来ているためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
電気主任技術者による毎日の点検、月次点検、年次点検に加え、「視察対応」を行っていく。	電気主任技術者による毎日の点検、月次点検、年次点検に加え、「視察対応」を行っていく。	引き続きCEMS帳票による緻密な数値からCO2排出削減効果等を把握する。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		企画課 企画係ICT・エネルギー担当
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	光回線など高速通信に関する調査検討及び整備促進
	施策の概要	他自治体における高速通信網の整備状況と手法及び民間事業者による整備の可能性、国などにおける補助制度の動向など、あらゆる可能性を調査検討し、町内全域の情報通信環境の高度化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	事業着手	事業着手	—	光回線など、高速通信網整備の事業着手
施策と指標の関連性	施策＝光回線の事業着手が必要なため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	-	事業着手	A	100%	調査検討
2021	0	0	0	-	整備完了	A	100%	調査検討
2022	0			-				調査検討
2023	0			事業着手				光回線など、高速通信網整備の事業着手
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円					

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
・適切な光回線整備工事	・適宜、住民への情報共有 ・適切な工事に向けた関係業者等との調整	・企画課	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
光回線整備工事、適宜住民へ情報共有											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	整備事業者であるNTTとの連携の中で、2022年2月に整備完了を確認。	当初2023年度時点における「事業着手」をゴールとしていたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の有効活用により、2021年度において「整備完了」まで進めることが出来たためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
事業完了	事業完了	事業完了

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	総務課財政係 行財政改革担当
-------	----------------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「その先へ」プロジェクト
	施策	行財政改革の推進
	施策の概要	持続可能な行財政基盤の確立の為、行財政改革推進本部及び審議会を立ち上げ、補助事業や使用料の見直し・組織機構改革に着手する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	行財政改革の執行額	△500,000千円	—	行財政改革の執行による経常的経費の削減効果額(累計)
施策と指標の関連性 行財政改革の推進として、一番大きな重点項目として、経費の削減効果額とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	705	705	0	0	△ 157,900	A	行財政改革推進審議会委員報酬など	
2021	0	670	539	△ 300,000	△ 266,658	A	89%	行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2022	0			△ 400,000				行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2023	0			△ 500,000				行財政改革推進審議会からの答申を受けて段階的に行財政改革を執行
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	千円	千円			

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
事業方針	具体的な事業内容	実施体制
<ul style="list-style-type: none"> 2020年度以降の行財政改革の執行に向けて、各種会議体を設置し、財政状況の共有や見直し、役場組織の改革について協議を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 行財政改革推進本部の継続 職員によるプロジェクトチームを発足 行財政改革推進審議会の設置、諮問及び答申 行財政改革大綱の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 町長、副町長 各所属長 総務課(行革事務局、機構改革事務局) 町民(団体の代表者、有識者など)

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	推進本部		審議会(委嘱・諮問)			審議会		審議会(答申)			行財政改革大綱の策定

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括(結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	2022年度新年度予算における削減効果を2021年度実績とした。	行財政改革大綱を策定し、行財政改革の方針を定めた。達成率が80%を超えていたためAとした。

Action Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点(事業方針や内容など)	Doの変更点(スケジュールなど)	Checkの変更点(チェックの体制・方法など)
2021年度に行財政改革大綱が制定された。2022年度に開催する行財政改革推進本部では、この大綱を基に、財政状況の共有や見直し、役場組織の改革について協議を進める。	行財政改革推進本部を2回開催し、2021年度に制定された大綱を基に、行財政改革の進捗状況の確認や見直しを進める。	予算の削減効果を検証するため、予算額を目標値・実績値としており、問題ないことから、これまでと同様とする。

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	ジオパーク推進課 推進係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	ジオパークの地域住民への浸透
	施策の概要	より多くの町民と共にジオパーク活動を推進するため、教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っていく。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	ビジターセンター来館者数	3,300人	3,000人	とちか鹿追ジオパークビジターセンター来館者数
施策と指標の関連性	指標との関連性は、町内外において、とちか鹿追ジオパークの認知浸透度を図る上での1つの目安となっている。また、多岐に渡るジオパーク活動事業を実施しており、指標以外での地域住民への周知浸透が図られている。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	9,398	5,509	4,972	3,100	1,933	B	62%	とちか鹿追ジオパーク推進協議会補助金など
2021	6,605	6,329	5,008	3,200	2,197	B	69%	ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2022	6,605			3,300				ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2023	6,605			3,300				ジオパーク活動の推進による来館者数の増加
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
教育でのジオパークの活用・地域住民への浸透・自然環境の保護と活用・情報発信の充実に向けた活動を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の場と連携した出前授業及び授業受入 地域行事でのPRブース出展 ジオパーク講座及びツアーなどの実施 ジオパークガイド養成講座の実施 関係機関と連携した保全活動（登山道整備等） 拠点施設の改修及び看板整備 再認定審査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 推進協議会（町長、団体代表者など） 推進協議会幹事会 ジオパーク推進課（事務局） 町民（ジオパーク協力店、サポーターなど）

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会総会		講座、ツアー、教育・PR活動等～3月まで			審査報告書提出	再認定現地審査			臨時総会（仮）		
幹事会					幹事会（中間報告等）		幹事会（審査・予算等）		幹事会		

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括（結果（A～Z）の理由を記載）
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	来館者記録簿 ・町内 ・管内 ・道内 ・道外に分類	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、昨年より来訪者が微増に留まり、目標値を大きく下回ったが、出前授業やオンライン講座を活用し、地域に密着した活動が出来た。また、2度目の再認定審査において「再認定」となった。目標達成率が6割以上のためBとした。

Action Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など

Plan の変更点（事業方針や内容など）	Doの変更点（スケジュールなど）	Checkの変更点（チェックの体制・方法など）
オンラインを併用しながら講座や情報発信等も考えていく。また、再認定を受け今後のアクションプランの策定を進める。	年間通し地域内外の認知向上に向け、学校・社会教育、観光、保全活動等の関係機関と連携し各事業を進めていく。	引続き、来館者記録簿により実績値の把握に努める。

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		建設水道課 花とみどり係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	花による美しい街と豊かな景観づくり
	施策の概要	鹿追らしい景観を創り出していく上で花の役割は非常に重要であることから道路や小中学校などの公共施設や民有地における景観づくりを進め、観光地としての魅力の向上に努める。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	花によるまちなぎのきれいさ	100%	97%	花による美しい街と豊かな景観づくり推進の達成度
施策と指標の関連性 花による美しい街と豊かな景観づくりの達成度を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	4,000	3,821	3,544	97	85	B	88%	・視察研修等旅費、種子・肥料、公共施設花苗など
2021	4,000	4,174	3,948	98	81	A	83%	・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備の実施
2022	4,000			99				・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2023	4,000			100				・市街地、道路沿線、公共施設等の環境整備、講習会等の実施
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
公共施設・民有地等に彩り豊かな花を植栽し、景観づくりを進め、魅力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地、道路沿線の植栽及び除草 ・公共施設等の植栽 ・立体トピアリーの設置 ・大型プランター・プランターの設置 ・樽型プランターの貸し出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設水道課、各課 ・フラワーマスター 鹿追地区連絡協議会 ・花とみどりの町づくり推進協議会 ・町民（団体・個人） 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
植栽準備	プランター設置・樽貸し出し	花苗植栽	←	花の管理 (水やり・追肥・草抜き等)	→	花苗片付	次年度に向けた花壇等整備		←	花苗作り	→

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	独自の指標で数値化し設定した基準値(H25年度)と比較し、当年度の『花によるまちなぎのきれいさ(%)』を求め。	新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベント等が中止となった。花苗等は順調に生育し、道路や公共施設等への植栽が予定通りに実施できた。評価については、目標達成率が8割以上であったこと、更にはフラワーマスターの会員数が目標の8割以上であったことからAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベント等を中止したが、イベント以外の活動は実施できているため、概ね目標を達成できており変更はないが、引き続き花による豊かな景観づくりに取り組む。	イベント以外の活動は実施できているため、概ね目標を達成できており変更はないが、引き続き花による豊かな景観づくりに取り組む。	引き続き、独自指標により実績値を把握する。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 農政係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	消費者ニーズにかなった体制の確立
	施策の概要	クリーン農業や環境保全型農業の取り組みを推進するとともに農業生産工程管理（GAP）等の取り組みを推進します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	GAP取組者	110戸	105戸	十勝型GAPの取組者数
施策と指標の関連性	指標は畑作農家戸数がベースとなっており、施策内容の十勝型GAPの取得者数や環境保全型農業の取組戸数と関連している。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	107	115	A	107%	十勝型GAPの推進
2021	0	0	0	110	114	A	104%	十勝型GAPの推進
2022	0			110				十勝型GAPの推進
2023	0			110				十勝型GAPの推進
2024								
2025								
2026								
2027								

4年見直し

単位 千円 千円 千円 戸 戸

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
2019年度十勝型ギャップに取り組んでいる農家戸数の105戸以上になるように取り組みを推進する。	関係機関と連携して、各種会議等でGAPの必要性を周知し、取組の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興課 営農対策協議会（農産部会） 町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							チェック表回収	チェック表回収・集計			

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	畑作組合員名簿（十勝型GAP取組者）	全体的には当初のスケジュール通りに実施することができ、目標達成率が8割以上であったため、Aとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
関係機関と連携して、各種会議等でGAPの必要性を周知し、取組の強化を図ることができたため、2022年度以降も継続して目標を立てる。	概ねスケジュール通りに実施できたため、2022年度以降も継続する。	チェック体制・方法も概ね計画通りに実施できたため、2022年度以降も継続する。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	農業振興課 畜産係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	安心・安全な農畜産物の需要拡大
	施策の概要	家畜伝染病等疾病対策を推進するとともに安心・安全な高品質の農畜産物の需要がさらに増すと想定される中で基本となる生産力を引き続き高めるため、競争力や地域力を向上させ「消費者に選ばれる農畜産物」の生産を推進する。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	需要拡大PR・普及活動	10回	5回	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の回数
施策と指標の関連性	安心安全な農畜産物の需要がさらに増すよう実施する、各種イベントでのPR回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	1,300	1,700	0	7	4	B	57%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2021	1,300	1,700	1,700	8	5	B	63%	各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2022	1,300			9				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2023	1,300			10				各種イベント等において農畜産物需要拡大PR・普及活動の実施
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

評価総括表

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
町内外において、安心・安全な高品質の本町農畜産物の需要拡大PR、普及活動を実施	各種イベント等において、普及・PR活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> 町長、副町長 農業振興課 商工観光課 農業関係機関

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動	普及・PR活動		普及・PR活動		

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	各種イベント等で行った農畜産物需要拡大PRの実績	町民の方へ、本町の農業をアピールする絶好の機会となった。目標達成率が6割以上のため、Bとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
中止になったイベントはあるものの、代替イベントを行うなど、概ね計画通りに実施することができ、変更点はないが、引き続きPR活動を実施する。	変更点はないが、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、引き続き普及・PR活動を実施する。	会議を行う 鹿追町農畜産物需要拡大推進協議会幹事会

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係		学校教育課 学校教育係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	国際理解を学ぶ英語教育の充実
	施策の概要	世界の多様な文化や価値観を学ぶため、国際的な標準語である英語を学び、より深く国際理解教育が進むように英語教育の充実を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	英検取得者数	10人	5人	鹿追高校での英検2級取得者数
施策と指標の関連性 英語教育を充実させた成果としての技能向上を把握するため、英検合格者数を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	5	5	B	100%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2021	0	0	0	7	7	A	100%	英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2022	0			9				英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2023	0			10				英会話を中心とした実践的な英語能力の開発
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
一貫教育と姉妹提携都市交流の有用性を利用した英語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜試験のスケジュールに偏重しない連携型入試の有用性を生かして、中学校3年期での実践的な英語教育方法の開発 低年齢時でのストニブレイン町との交流による国際理解教育の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 町教委（ALT） 各小中学校 鹿追高校 ストニブレイン町

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	英検受験	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	英検受験	ス町との交流による英語教育	ス町との交流による英語教育	英検受験	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発	実践的な英語教育の開発

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果 (A~Z) の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実態調査	積極的に英検受験を奨励し、多くの生徒が受験したことで、目標を設定した学習意欲の向上につながっている。また、目標達成率が100%のためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
段階的に目標達成の可能性を確保するため、事業計画を変更せずに継続する。	現行のサイクルにより事業効果を確保していると考えているため、スケジュールの変更は行わない。	取得者数は在校生数に大きく影響を受けるため、実数より割合による検証を検討する。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

担当課・係		学校教育課 学校教育係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「魅力」最大化プロジェクト
	施策	幼小中高一貫教育による深い学びの実践
	施策の概要	幼児期から高校まで一貫した教育指針のもと、受験勉強に捉われない深い学びを実践します。さらに鹿追高校を町内教育機関の最高学府と位置付けて、高校の存続とともに教育力向上のために総合的に支援します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	鹿追高校への進学率	70%	58%	町内中学生の鹿追高校への進学率
施策と指標の関連性 一貫した教育実施のために、高校での学習につなげる生徒数の割合を指標とした。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検		自己評価	目標達成率	内容
				目標値	実績値			
2020	0	0	0	70	45	B	64%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2021	0	0	0	70	55	B	79%	研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2022	0			70				研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2023	0			70				研究開発を基にした一貫教育の再構築と、地域の教育力を融合した課題解決能力を高める教育の実施
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	%	%			

Plan	関係指標を達成するための2021度の具体的な目標		
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制	
幼小中高一貫教育の効果的な運用の確認と再構築	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決能力を向上させるための授業の研究 小、中、高校相互の乗り入れ授業や交流授業の充実 一貫教育を意識した共通目標の再設定 	<ul style="list-style-type: none"> 町教委 小中学校 鹿追高校 各学校運営協議会 	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一貫教育の目標再設定			十勝管内の全中学校回り 町内家庭訪問(中3)			十勝管内の全中学校回り		町内家庭訪問(中2)				

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	入学者実数	鹿追高校での学習内容や魅力的な教育活動を小中学校の児童や生徒に伝えることが徐々に出来つつある。また、目標達成率が7割以上のためBとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
入学率に改善の兆しが見えるため同取り組みを継続する。	入学者数を目標とするため結果の把握方法に変更なし	オンライン公設塾の活用など、学校以外での中高接続方法の模索

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

2021 (R3) 年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

担当課・係		保健福祉課 包括ケア係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	地域包括ケアシステムの推進
	施策の概要	高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を送ることができるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みを考えていきます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	総合相談者数(新規)	500件	357件	地域包括支援センター・居宅支援事業所の新規相談件数
施策と指標の関連性	高齢者が在宅生活を継続する方法を共に考える手段のひとつである相談件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	24,000	24,915	25,020	350	133	B	38%	地域支援事業費(介護予防・生活支援サービス事業費など)
2021	24,000	25,828	25,504	400	203	B	51%	相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2022	24,000			450				相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2023	24,000			500				相談受付・介護サービスとの連携・権利擁護業務の推進
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

評価総括表

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
<ul style="list-style-type: none"> 地域の支援を必要とする高齢者や家族などの相談を受け付け、適切な機関・制度・サービスにつなぎ支援していきます。 医療機関と居宅に関する介護サービスとの連携を図ります。 権利擁護業務の推進に努めます。 	介護予防・日常生活支援総合事業、総合相談支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、認知症施策の推進、権利擁護業務、在宅医療・介護との連携の推進、生活支援サービス体制の整備、居宅介護支援	<ul style="list-style-type: none"> 各所属長 福祉課 社会福祉協議会 医療機関 介護施設 介護サービス事業所 町民

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各種相談・在宅医療・介護連携推進会議・権利擁護業務準備	各種相談・権利業務関係機関話し合い	各種相談・在宅医療介護連携推進会議	各種相談・在宅医療介護連携推進会議	各種相談・在宅医療介護連携推進会議	各種相談・在宅医療介護連携推進会議	各種相談・在宅医療介護連携推進会議	各種相談	各種相談	各種相談	各種相談・在宅医療介護連携推進会議	各種相談・次年度権利擁護業務の話し合い

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	実際の相談件数	新型コロナウイルス感染予防により認知症カフェは開催できなかったが、高校生に認知症サポーター養成講座や認知症VR体験講座、地域ケア会議を開催できた。新規相談件数は昨年より伸びており、目標達成率は5割以上であったため、Bとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染拡大予防に留意しながら、昨年までは休止していた事業の再開を検討する。	随時の相談については継続。事業については、参加者数の制限、環境整備等で実施方法を工夫。	包括支援センター業務の推進を図ることから、包括支援センター業務の評価をチェック項目にすることが妥当と考える。その主要なチェック項目として、総合相談者数を記載する。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

担当課・係	商工観光課 観光係
-------	-----------

プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	道の駅しかおい・うりまく、観光協会特産品部会との連携
	施策の概要	観光客等との交流の拠点施設である道の駅において、町内特産品に関するイベント等を実施するとともに、町外の道の駅との相互連携事業により町内特産品の町外への積極的な発信などを実施します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	道の駅連携イベント実施数	10	2	町外道の駅との連携イベントの実施回数
施策と指標の関連性	施策として行う町外の道の駅との相互連携事業の実施回数を指標とする			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	1,200	1,200	0	3	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2021	500	500	0	5	0	Y	0%	・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2022	500			7				・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2023	500			10				・観光協会補助事業（特産品部会）による連携イベントの実施
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制	
物産振興を図るため観光協会（特産品部会）と連携した道の駅連携事業に取り組みます	・道の駅しかおい及びうりまくにおいて町内特産品の販売促進を進めるとともに、町外道の駅との相互連携事業を複数回実施します。	鹿追町 鹿追町観光協会 道の駅しかおい 道の駅うりまく	

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観光協会 総会				相互 連携 事業		相互 連携 事業		相互 連携 事業				

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	担当係にて実施回数の確認による。	新型コロナウイルス感染症の影響を昨年度から継続して受けており、事業の実施を見送ったことから評価をYとし、次年度以降に実施への状況が整った際に実行したい。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Plan の変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
道の駅では観光客のみならず町民にも楽しんでいただける事業として検討したものであり、前年度の事業方針で継続して進める。	感染症はまだまだ落ち着かない状況下ではあり、2年続けて事業を見送っていることから実施回数を見直しを含めて事業日程の変更を検討したい。	実施回数を目標値・実績値としており問題無いことから前年度同様とする。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	町民課 住民生活係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	防災意識の普及と防災体制の充実強化
	施策の概要	災害発生時における対応力の向上と町全体の防災体制の強化を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	防災訓練等	10回	0回	行政区等を対象とした防災訓練等の回数
施策と指標の関連性	防災意識の普及のために実施する防災訓練等の回数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	4,567	4,567	3,996	10	0	C	0%	<ul style="list-style-type: none"> 防災備品の整備 防災防火フェスティバル開催 北海道総合行政ネットワーク工事負担金 他
2021	268	1,753	1,753	10	5	B	50%	<ul style="list-style-type: none"> 防災備品の整備 「防災・防火フェスティバルinしかおい」の開催 防災講話や防災訓練の実施 避難所運営マニュアルの整備
2022	268			10				<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄の整備 防災講話や防災訓練の実施
2023	268			10				<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄の整備 防災講話や防災訓練の実施
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	回	回			

評価
総括
表

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民への防災に関する情報提供や防災訓練等を通じた意識啓発を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災ハザードブックや広報紙等を活用し、停電、断水、火災、風雪、水害、地震など自然災害等に対する防災意識の高揚に努めます。 各関係機関と各種防災訓練等を実施し、災害時の被害を最小限に食い止めるよう、防災体制や災害時対応体制の充実強化に努めます。 防災備品の計画的整備を図ります。 避難所運営マニュアルを作成します。 	鹿追町防災会議・地域防災委員

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報等周知	防災・防火フェスティバル	防災備品整備			広報等周知						

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	防災訓練・防災講話の開催実績回数	当初予定していた「防災・防火フェスティバルinしかおい」が新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となり、防災講話や防災訓練の回数が目標の5割の回数であったためBとした。防災講話等は、鹿追小(4年)、通明小(4年)、鹿追中(2年)、上幌内地区、中鹿追OB会を対象に実施した。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
コロナ禍で行政区活動ができない中では、行政区等を対象とした防災訓練等の回数が少なくなってしまうが、感染対策を講じながら引き続き実施していく。また、2021年度に完成しなかった避難所運営マニュアルの整備を引き続き実施する。	防災に関する周知を広報誌などにて引き続き実施する。	防災講話の開催件数だけでなく、防災に係る広報等の内容など全体的に評価する。

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課 企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国際姉妹都市との交流促進
	施策の概要	ストニブレイン町との交流を継続し、相互間で新たな事業を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	受入れホスト家庭数	358	308	受入れホスト家庭数
施策と指標の関連性	往来を伴う交流が中心で、ホームステイによる交流の継続を目標としているため、受入れホスト家庭数を目標値としている。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	20,000	17,859	1,415	328	318	B	97%	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹提携35周年事業の実施 ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2021	7,500	10,647	1,695	338	318	A	94%	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2022	7,500			348				<ul style="list-style-type: none"> ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2023	7,500			358				<ul style="list-style-type: none"> ・訪問団受入事業の実施 ・相互住民長期滞在体験事業 ・国際交流センターの運営
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	戸	戸			

評価総括表

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
コロナ禍における往来を伴わない形での継続した交流事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・開町100年記念式典へのオンライン参加 ・オンライン等を活用した継続した交流事業の実施 ・国際交流センターの運営 	企画課 国際交流協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備	準備	準備	準備	準備	開町記念式典	交流事業	交流事業	交流事業	交流事業	交流事業	交流事業
センター運営											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
A	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	派遣・受入の実績をデータで管理している。	コロナ禍の影響で受入が実施できず、受入家庭数の実績値は変わらなかった。しかし、計画した事業については概ね実施することができたためAとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2022年度においても新型コロナウイルス感染症の影響がある中、往来を伴う交流の再開と、往来を伴わない交流をどのように継続していくか検討していかなければならない。	2022年度においても新型コロナウイルス感染症の影響がある中、往来を伴う交流の再開と、往来を伴わない交流をどのように継続していくか検討していかなければならない。	これまでどおり、事業結果については国際交流協議会の協議を経るものとし、結果及びふりかえり総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課 企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	国内友好都市等との交流促進
	施策の概要	東京都台東区との特定分野での連携のほか新たな分野での連携を模索します。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	国内姉妹提携都市数	1	0	国内姉妹提携都市数
施策と指標の関連性	特定分野での連携のほか、新たな分野での連携を模索することが施策の具体的内容であり、現在ゼロとなっている国内姉妹都市提携の締結によって、様々な交流が推進されていくものと考えられるため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	3,635	4,998	392	0	0	B	0%	・台東区との連携協定終了後に向けた新たな連携の検討 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2021	3,635	3,310	981	0	0	Y	0%	・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2022	3,635			0				・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2023	3,635			1				・台東区との新たな協定下における交流事業の推進 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進
2024								4年見直し
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	都市	都市			

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
台東区との特定分野における連携協定の締結と新たな交流分野の検討 台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・児童派遣事業の実施 ・ふるさと交流ショップへの出店 ・白蛇姫舞保存会の派遣 ・その他各種交流事業の実施 ・台東区・墨田区と十勝地域の連携事業の推進 	企画課 地域間交流協議会

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連携協定・交流の検討	交流ショップ	連携協定・交流の検討	連携協定・交流の検討	連携協定・交流の検討	連携協定・交流の検討	交流ショップ	各種交流事業	白蛇姫舞保存会の派遣	児童派遣事業	連携協定・交流の検討	連携協定・交流の検討

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
Y	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	姉妹都市提携の有無	コロナ禍の中で、実施できなかった事業も多かったが、2020年度末においては、災害時相互応援協定、2021年度には文化・観光施設割引協定の準備を進める(2022年4月提携)など、関係性が深まっている。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
2022年度においても新型コロナウイルス感染症の影響がある中、往來を伴う交流の再開と、往來を伴わない交流をどのように継続していくか検討していかなければならない。	2022年度においても新型コロナウイルス感染症の影響がある中、往來を伴う交流の再開と、往來を伴わない交流をどのように継続していくか検討していかなければならない。	これまでどおり、事業結果については国内交流協議会の協議を経るものとし、結果及びふりかえり総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課 企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	町民の町政参加機会の拡充
	施策の概要	各種審議会委員などを公募や無作為抽出などの手法により選出し、町民誰もが町政に参加しやすい環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	無作為抽出による会議などへの参加件数	5	0	各種審議会委員などの無作為抽出選出件数
施策と指標の関連性 町政に係る各種の事項を審議する委員会等に多くの町民が参加することは、町民の町政への参加の直接的な指標となると考えたため。				

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	0	0	1	0	B	0%	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本条例の周知徹底 実施状況の確認
2021	0	0	0	2	1	C	50%	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本条例の周知徹底 実施状況の確認
2022	0			3				<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本条例の周知徹底 実施状況の確認
2023	0			5				<ul style="list-style-type: none"> まちづくり基本条例の周知徹底 実施状況の確認
2024								<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 4年見直し </div>
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
	具体的な方針	実施体制
	各種審議会委員等の選出における公募や無作為抽出などの手法の積極的な検討 ・まちづくり基本条例の周知徹底 ・実施状況の確認	町長、副町長 各所属長 企画課（事務局）

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
条例の周知	前年度実施状況確認					条例の周知					

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	庁内各課への照会による。	各課への周知等を行っているものの、無作為抽出による会議参加が進まない。2021年度は10月に、ゼロカーボンシティ推進協議会にて実施した。総合計画など、企画課が関与する計画策定などで、モデル的に実施するなどし、各課への波及も必要と考える。目標達成率は5割のためCとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
これまでの方針を継続するとともに、2023年度に総合計画の見直しを行う際には、モデル的に実施するなどし、各課への波及に努めたい。	これまでの方針を継続するとともに、2023年度に総合計画の見直しを行う際には、モデル的に実施するなどし、各課への波及に努めたい。	チェック体制・方法についてはこれまでどおり実施する。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課 広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	広報広聴活動の拡充
	施策の概要	毎月発行している広報しかおいやホームページなどによる情報発信のほか、SNSなどにより情報の発信・共有に努めます。また、「やまびこメール」や「地域マネージャー制度」「ふれあいトーク」など誰もが参加し、まちづくりの意見交換ができる環境づくりに努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	ふれあいトークへの参加人数	300人	-	ふれあいトークへの参加人数
施策と指標の関連性	誰もがまちづくりのための意見交換ができる場である、ふれあいトークの参加人数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	20	2	150	63	B	42%	・ふれあいトークの参加人数
2021	0	5	3	200	20	D	10%	・ふれあいトークの参加人数
2022	0			250				・ふれあいトークの参加人数
2023	0			300				・ふれあいトークの参加人数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	人	人			

4年見直し

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標		
	具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
	ふれあいトークの周知	・広報誌、ホームページ、SNS、防災無線、地域マネージャーなどを通し周知を図る。	町長、地域マネージャー、企画課広報広聴係

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
制度について適宜周知											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
D	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	ふれあいトークへの参加人数実績	前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の観点からカフェトークを1回、出前トークは4回の開催を中止している(5月に出前トーク、10月にカフェトークを1回ずつ実施)。感染拡大の終息が見えない中、終息までの間は、開催に配慮し実施していく必要がある。目標達成率は1割のため、Dとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染拡大に終息が見られなければ、実施の延期、中止は止むを得ないが、配慮しながらの実施を検討する。	新型コロナウイルス感染拡大に終息が見られなければ、実施の延期、中止は止むを得ないが、配慮しながらの実施を検討する。	従前同様、ふれあいトークの参加人数を実績値とする。

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課 広報広聴係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	住民自治組織の育成
	施策の概要	町内会のあり方や活性化のための研修会や講演会などを開催し、それぞれの地域が持つ特性や特色を生かして、地域の課題を地域みんなの力で解決できる組織の育成に努めます。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	行政区支援事業への参加数	35	24	行政区支援事業への参加件数
施策と指標の関連性	地域の課題を地域の力で解決できるようになるために実施する、行政区支援事業への参加件数を指標とした。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	0	763	422	25	8	C	32%	・行政区支援事業への参加件数
2021	0	778	441	28	8	C	29%	・行政区支援事業への参加件数
2022	0			30				・行政区支援事業への参加件数
2023	0			35				・行政区支援事業への参加件数
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	件	件			

4年見直し

2021（R3）年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」 PDCAサイクルシート

Plan 関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標

具体的な方針	具体的な事業内容	実施体制
町内会（地域のつながり）の大切さを啓発	・広報誌などを通し啓発を図る。	企画課広報広聴係

Do 「Plan」を実行するためのスケジュール・内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
適宜啓発											

Check 「Do」の結果・チェックなど

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
C	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	地域のつながり活動助成事業を実施する行政区数を計上	前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の観点から行政区活動を自粛する行政区が多くあった。感染拡大の終息が見えない中ではあったが、8行政区が工夫しながら活動を行ったのは、大きな成果である。目標達成率は3割以下なので、Cとした。

Action Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
新型コロナウイルス感染拡大に終息が見られなければ、町として事業の周知・啓発をしたとしても、行政区活動自体が実施できない。感染拡大を考慮し、工夫しながら行う活動に期待する。	新型コロナウイルス感染拡大に終息が見られなければ、行政区活動にも制限がかかる。感染拡大を考慮し、工夫しながら行う活動に期待する。	従前同様、地域のつながり活動助成事業への参加件数とする。

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」実施計画

	担当課・係	企画課 企画係
プロジェクトの概要	プロジェクト名	「つながり」プロジェクト
	施策	他市町村との情報共有など広域行政の連携強化
	施策の概要	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合などによる事業促進を図ります。

関係指標	指標名	目標値	現状値 (2018年度)	内容
	十勝管内の観光入込人数(延べ人数)	1,046万人	1,033万人	
	十勝管内バス乗客数	464万人	459万人	
施策と指標の関連性	十勝全体の広域的な取組みの中核をなす、定住自立圏共生ビジョンにおいて成果指標としているため。			

年度	計画額	予算額	決算額	事業の点検			目標達成率	内容
				目標値	実績値	自己評価		
2020	797	1,039	968		1,026 451	B	98%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2021	797	1,785	1,685		707 326	B	69%	十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2022	797							十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2023	797			1,046 464				十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合への参画
2024								
2025								
2026								
2027								
単位	千円	千円	千円	万人	万人			

4年見直し

2021(R3)年度 第7期鹿追町総合計画「重点プロジェクト」PDCAサイクルシート

Plan	関係指標を達成するための2021年度の具体的な目標	
具体的の方針	具体的な事業内容	実施体制
十勝定住自立圏や十勝圏複合事務組合などによる事業促進	<ul style="list-style-type: none"> 十勝定住自立圏 十勝圏複合事務組合 とから航空宇宙産業基地誘致期成会 北海道食産業総合振興機構(フード特区) 十勝町村会 十勝圏活性化推進期成会 十勝地域公共交通活性化協議会 	町長、副町長 各所属長 企画課(事務局) 各団体

Do	「Plan」を実行するためのスケジュール・内容
----	-------------------------

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業への参加及び促進											

Check	「Do」の結果・チェックなど
-------	----------------

結果	評価参考基準	実績値の把握方法	ふりかえり総括 (結果(A~Z)の理由を記載)
B	A:目標の8割以上 B:目標の6割以上 C:目標の4割以下 D:目標の2割以下 E:効果なし X:実施年度ではない Y:次年度以降実施 Z:昨年度までに事業完了	事務局(帯広市)による取りまとめによる。	コロナ禍において、関係指標の落ち込みが大きいものの、2021年度からは新たに広域による公共交通計画の策定に向けた取組を進めるなど、広域連携の推進が図られている。目標達成率は6割以上のためBとした。

Action	Checkを受け、2022年度以降に向けた必要な変更点など
--------	-------------------------------

Planの変更点 (事業方針や内容など)	Doの変更点 (スケジュールなど)	Checkの変更点 (チェックの体制・方法など)
広域連携のため、本町が主体的に事業を実施するものではないが、本町にとって最大限の効果が得られるように引き続き参加していく。	広域連携のため、本町が主体的に事業を実施するものではないが、本町にとって最大限の効果が得られるように引き続き参加していく。	引き続き、十勝定住自立圏による成果指標の把握を行い、結果及びふりかえり総括については、その内容を踏まえて、事務局の企画課において実施する。